

令和5年度第2回国土技術政策総合研究所入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和6年2月29日（木） TKP神田ビジネスセンター	
委員	委員長 森本 章倫（早稲田大学教授） 委員 篠田 友彦（公認会計士） 委員 長井 宏平（北海道大学教授） 委員 義経百合子（弁護士）	
審議対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和5年9月30日	
事案の抽出	国土技術政策総合研究所が審議対象期間に発注した工事、建設コンサルタント業務等及び物品・役務の一覧表から、今回の抽出当番委員である義経委員により事前に無作為の方法により抽出されたものである。	
抽 出 事 案（審議順）		
区 分	件 名	
物品役務等		
一般競争入札方式	① 省CO2に資するコンクリート系新材料の材料試験用の試験体製作業務	
	② 港湾情報処理システム等の機能提供業務	
工 事		
一般競争入札方式 （総合評価落札方式）	③ 令和5年度国総研（立原）空調用中央監視リモート装置更新工事	
建設コンサルタント業務等		
一般競争入札方式 （総合評価落札方式）	④ 空港工事等オンライン電子納品システム構築業務	
随意契約方式 （簡易公募型（拡大型） プロポーザル方式）	⑤ 生活道路における交通安全対策の合意形成に向けたデータ活用手法検討業務	
	⑥ 令和5年度舗装の定点調査等業務	
	⑦ 道路緑化の目標設定と維持管理方法に関する調査業務	
随意契約方式 （参加者の有無を確認する公募方式）	⑧ 水防活動支援情報共有システム改良・試験運用業務	
委員からの意見・質問それに対する説明・回答	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	な し	

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況報告</p> <p>(2) 指名停止等の運用状況報告</p> <p>(3) 再度入札における一位不動状況報告</p> <p>(4) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>(5) 一者応札の発生状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札が多くなっているが、改善の方向性や取組はあるか。 <p>(6) 不調・不落の発生状況報告</p> <p>(7) 高落札率の発生状況報告</p>	<p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界団体との意見交換では、プロポーザル方式は評価で1位にならないと受注できないことから、1位になれそうなところに尽力すると聞いている。 ・参加者を増やすため、業務内容をわかりやすくする、過年度業務にはない新しい要素を取り入れるなど、引き続き努力したい。 <p>意見・質問なし</p> <p>意見・質問なし</p>
<p>【抽出事案】</p> <p>(1) 省CO2に資するコンクリート系新材料の材料試験用の試験体製作業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募要件である試験体製作の受注実績について、実績のある者が複数あることを確認して設定したものか。 ・次回、同様の発注を行う際は、参加要件を広げる予定はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績のある者が複数あることを確認している。 ・業務責任者に必要な資格の緩和などを検討する。

意見・質問	説明・回答
<p>・試験体の製作だけではなく、試験体を使用した実験業務をまとめて発注してはどうか。</p> <p>(2) 港湾情報処理システム等の機能提供業務</p> <p>・今後の発注において、発注規模が小さくなると応募しやすくなるのか。</p> <p>(3) 令和5年度国総研（立原）空調用中央監視リモート装置更新工事</p> <p>・今回の受注者と更新前の設備を設置したのは同じ者か。</p> <p>・既存設備の更新の場合、設置した者に優位性があると思われるが、幅広く参加してもらうために取り組んでいることはあるか。</p> <p>・他機関の発注における入札参加者について情報収集することは可能か。</p> <p>・中央監視装置は部品供給が平成26年に停止しているが、更新したのは平成30年であり、その間、故障しても修理できない状態になっていたがどのように考えているか。</p> <p>(4) 空港工事等オンライン電子納品システム構築業務</p> <p>・受注者は初めてこのシステムに関わる者か。</p> <p>・応札しなかった者へのヒアリングでは「どうして入札に参加しなかったか」ではなく、「どうすれば入札に参加するか」という聞き方をしはどうか。</p> <p>・本業務と電子納品物保管管理システムの構築業務を分けて発注したのは、競争参加者を増やすことが目的か。</p>	<p>・試験体の製作と実験業務では専門性が異なる。また、実験は国総研が直営で実施している。</p> <p>・情報システムのクラウド化によって、発注規模が小さくなり、大規模であることで参加を控えていた者は応募しやすくなると考えている。</p> <p>・応募要件として同種工事の施工実績を求めているが、結果的に応札したのは同じ者であった。</p> <p>・難しい工事ではないので、特に優位ということはない。応募を増やす取組としては、業界に広く発注情報を知ってもらう、発注を前倒しして工期を確保するなどの取組がある。</p> <p>・必要に応じ参考にしたい。</p> <p>・老朽化等で改修が必要な施設が多いが、予算の制約もあり、優先順位をつけて対応している。</p> <p>・このシステムについては初めてであるが、過去に別のシステムの構築した実績はある。</p> <p>・検討させていただく。</p> <p>・構築したシステムを踏まえ、次のシステムを順次構築していくため別業務としたものであるが、競争参加者を増やす目的にもなっている。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>(5) 生活道路における交通安全対策の合意形成に向けたデータ活用手法検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案の評価がCの0点が多いこと、ここで大きな差が付くことについて考え方を教えてほしい。 <p>(6) 令和5年度舗装の定点調査等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札になった原因はヒアリングで確認したもののか。 ・業務内容で分けて発注することはできたか。 <p>(7) 道路緑化の目標設定と維持管理方法に関する調査業務</p> <p>(8) 水防活動支援情報共有システム改良・試験運用業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存システムを作った者に改良業務を発注する場合、価格が適正であるか、相手の言い値になっていないか、よく確認していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式は、よい提案をした者が受注に有利な配点となっている。また、それが参加意欲につながると考える。なお、C評課は必要な技術力は有しているという評価である。 ・技術提案の評価は加点方式であり、評価者がよいと考える提案がある場合や、高度な提案である場合はBやAに評価している。 ・ヒアリングで特定テーマがとっつきにくいテーマであったと回答があった。 ・今回は同じ分野の業務なので、ロットを大きくした方が多くの者の参加を期待できると考えた。次回以降も、どのような組み合わせとするかバランスを見ながら検討していく。 <p>意見・質問なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承知した。
<p>【総括】</p> <p>今回の「定例会議」の審議案件については、特に指摘すべき不適切な点、改善すべき点は、認められなかった。</p>	

※「国土技術政策総合研究所」は「国総研」と表記している。

抽 出 事 案 一 覧

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者 数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
省CO2に資するコンクリート系新材料の材料試験用の試験体 製作業務	役務の提供等	1	1	R5.9.13	(株)八洋コンサルタント	4,488	100.00%
港湾情報処理システム等の機能提供業務	役務の提供等	1	1	R5.4.1	日本電気(株)	406,450	98.24%

【工 事】

(一般競争入札方式(総合評価落札方式))

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者 数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
令和5年度国総研(立原)空調用中央監視リモート装置更新工 事	暖冷房衛生 設備工事	1	1	R5.9.19	アズビル(株)	68,640	93.88%

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式(総合評価落札方式))

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加 者 数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
空港工事等オンライン電子納品システム構築業務	建設コンサル (土木)	1	1	R5.6.22	(一財)港湾空港総合技術 センター	51,700	98.18%

(簡易公募型(拡大型)プロポーザル方式)

業 務 名	業種区分	技術提案書の 提出者の選定数	技術提案書の 提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
生活道路における交通安全対策の合意形成に向けたデータ 活用手法検討業務	建設コンサル (土木)	5	5	R5.7.20	(株)オリエンタルコンサルタンツ	24,640	99.78%
令和5年度舗装の定点調査等業務	建設コンサル (土木)	1	1	R5.8.28	オリエンタルコンサルタンツ・レ インボーコンサルタント設計共 同体	23,980	89.68%
道路緑化の目標設定と維持管理方法に関する調査業務	建設コンサル (土木)	1	1	R5.7.20	(一財)日本緑化センター	7,942	99.59%

(参加者の有無を確認する公募方式)

業 務 名	業種区分	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
水防活動支援情報共有システム改良・試験運用業務	建設コンサル (土木)	R5.5.10	日本工営(株)	30,470	100.00%